

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和4年3月22日（火曜日）

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時30分 散会

付託事件

議案第3号，議案第18号，議案第20号中第1表中歳出中第5款，第6款中産業消防委員会所管分，第7款，第9款及び第11款中産業消防委員会所管分並びに第3表債務負担行為中産業消防委員会所管分，議案第22号，議案第23号，議案第36号中第1表中歳出中第9款及び第2表継続費補正中第9款，議案第37号，議案第38号

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

- ① 議案第 3号 水戸市農業共済条例を廃止する条例
- ② 議案第18号 水戸市駐車場条例の一部を改正する条例
- ③ 議案第20号 令和4年度水戸市一般会計予算中第1表中歳出中第5款（労働費），第6款（農林水産業費）中産業消防委員会所管分，第7款（商工費），第9款（消防費）及び第11款（災害復旧費）中産業消防委員会所管分並びに第3表債務負担行為中産業消防委員会所管分
- ④ 議案第22号 令和4年度水戸市公設地方卸売市場事業会計予算
- ⑤ 議案第23号 令和4年度水戸市駐車場事業会計予算
- ⑥ 議案第36号 令和3年度水戸市一般会計補正予算（第11号）中第1表中歳出中第9款（消防費）及び第2表継続費補正中第9款（消防費）
- ⑦ 議案第37号 令和3年度水戸市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）
- ⑧ 議案第38号 令和3年度水戸市駐車場事業会計補正予算（第1号）

2 出席委員（7名）

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	小泉康二君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君	委員	五十嵐博君
委員	安藏栄君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（なし）

5 説明のため出席した者の職、氏名

産業経済部長	鈴木吉昭君	産業経済部 参事	川崎幹男君
--------	-------	-------------	-------

産業経済部 参事兼 商工課長	長谷川 昌 人 君	産業経済部 技監兼 農政課長	深 澤 和 広 君
観光課長	小 林 一 仁 君	農業環境整備 課長	三 村 隆 君
農産振興課長	後 藤 俊 之 君	公設地方 卸売市場長	宮 田 正 一 君
消防局長	小 泉 直 紀 君	消防次長	大 内 康 弘 君
消防局参事	箕 輪 重 美 君	消防局参事兼 火災予防課長	石 田 宏 一 君
北消防署長	青 木 剛 君	南消防署長	勝 村 俊 則 君
消防総務課長	猿 田 純 夫 君	消防救助課長	大 信 成 人 君
救急課長	栗 原 政 人 君		
農業委員会 事務局長	横 山 英 雄 君	農業委員会 事務局次長	吉 川 正 浩 君

6 事務局職員出席者

書 記	大 内 し お り 君	書 記	島 田 祐 輔 君
-----	-------------	-----	-----------

午前10時 0分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

本日の日程は、議案第3号ほか7件であります。

お諮りします。この際、当委員会に付託となっております議案第3号ほか7件を一括議題としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、一括議題とします。

それでは、付託議案については一通りの質疑を行いましたので、これより各議案について、御意見を伺いながら採決に入ってまいりたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより御意見を伺いながら採決に入ります。

採決の方法は、挙手によりお願いします。

初めに、議案第3号 水戸市農業共済条例を廃止する条例について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、議案第3号について、採決します。

議案第3号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第3号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第18号 水戸市駐車場条例の一部を改正する条例について、御意見等がございましたらお願いします。

渡辺委員。

○渡辺委員 議案第18号の駐車場条例は賛成するところでございますが、意見をちょっと申し述べておきます。

新市民会館が今年の10月に完成して、今のところ、スケジュールでは来年7月に供用開始というようなことで、昨日もちょっと京成百貨店の上から見てきたんですけども、ほぼ大体全部、外側はできたというようなことで、徐々に市民にも、いわゆる建築の様子が分かってきたのかなというような段階に来ていると思います。それと一体的な整備というようなことで、専用ではないんですけども、新市民会館対応の駐車場として今回これが出て、値段とかネーミングが出てきたわけですけども、あそこに300台分の駐車場ができるということは、非常に周辺の交通の動態が変化してくるのかなということをちょっと感じておりますので、そういう今後の交通の動態については細心の注意を払っていただきたいということと、あともう一

つ、前にも述べたんですけれども、駐車場の出入り口の出口が、隣の芸術館の駐車場の出入り口と隣同士になっているということもありまして、またその周辺にも民間の駐車場がたくさんありますので、安全には配慮を願いたいということです。

それともう一つ、これも大事なことなんですけれども、駐車場の前には、みと文化交流プラザがございまして、その中には五軒市民センターが入っているということで、そこに併設している駐車場は無料ということになっております。したがって、今後この駐車場の有料の部分と、目の前の無料の部分というようなところの整合性をしっかり打合せ等、対応策を取っていただきたいなど、無用な混乱が起らないように、事前に対策を立てておくというようなことを意見として述べておきます。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

小泉委員。

○小泉委員 私も賛成の立場から意見を申し上げさせていただきたいと思います。

議案第18号でございますけれども、こちらの条例の改正というのは、使用料についての部分だと思しますので、使用料の部分に関しましては、やはりそこが今後建設した後の管理運営をしていく部分での収入の部分になってくるというふうに思います。今回改正して、今まで付近であった1,500円というところからの700円ということで、そこは実勢を調査していただいて、判断をしていただいたということでございますけれども、やはりその今後の収支のバランスもぜひしっかり見ていただきたいというふうにも思います。あと実勢価格というのもあるんですけれども、芸術館地下駐車場のほうでいいますと1,500円が今回半額以下になるということもございますので、やはり今後、実勢を考えた上での適切な料金設定というの、未来永劫この上限700円というわけでもないと思いますので、そういったところはしっかりとバランスを取って運営をしていっていただきたいなというふうに思います。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、議案第18号について、採決します。

議案第18号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第18号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第20号 令和4年度水戸市一般会計予算中第1表中歳出中第5款（労働費）、第6款（農林水産業費）中産業消防委員会所管分、第7款（商工費）、第9款（消防費）及び第11款（災害復旧費）中産業消防委員会所管分並びに第3表債務負担行為中産業消防委員会所管分について、御意見等がございましたらお願いします。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 議案第20号につきまして、賛成の立場から3点について意見を申し上げたいと思います。

初めに、第5款労働費のUJIターン・若者定着応援事業につきましては、地元企業の情報発信の強化を

図るとともに、オンライン合同企業説明会への補助、採用力向上セミナーの支援に加えまして、来年度に新規事業として茨城県央地域9市町村内の企業の人材確保を支援するためのオンラインによる企業説明会が開始されますが、これらの事業を着実に取り組んでいただきまして本市への移住を促進していただければと考えます。

次に、第6款農業水産業費の学校給食における地場農産物の活用促進事業につきましては、児童、生徒への旬な地場農産物を提供することで、市内でどのような食材が生産されているのか、地産地消や農業に対する理解を深め、食育の推進につながる大事な事業であると認識しております。来年度におきましても、水戸市産の食材を使用した献立「MITOごはん」に新メニューも加え、さらに増加をして、年間で26回の給食を提供されるということですが、この事業によって、本市の児童、生徒の皆様が農業の取組や食の大切さを実感できる事業となりますように、さらなる推進をしていただきたいと思います。

最後に、第7款商工費では、初めに、広域観光の推進事業につきましては、来月4月1日から今までの定住自立圏共生ビジョンから、新たに連携中枢都市圏ビジョンの枠組みへと移行することになります。そのことから、これまでの協議会における取組をはるかに超える連携強化を行う中で、さらなる誘客が大いに期待される結果となるような事業を推進していただきたいと思います。

最後に、観光まつり開催事業につきましては、本市では年間を通じて多くの各種祭りに取り組んでいただいておりますが、それぞれに少しずつリニューアルしたり、コロナ禍に対しましても本当に努力を重ねながら推進されておられるものと認識しております。現在行われております水戸の梅まつりにつきましても、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の影響で、筑波山梅まつりが初の中止になるという報道がありましたけれども、そのような中でも、水戸市においては水戸の梅まつり、飲食等の集客に伴うイベントは開催できませんでしたが、延期をして、また延長して開催するということになりました。

私も一昨日と昨日、水戸黄門漫遊一座、二十日の日は役者として、昨日はスタッフとして行ってきて、一日いましたけれども、本当に多くの来園者でありました。梅も満開で咲いておりますし。一番驚いたのは、帰るときに、本当にもう夕方なんですけれども、まだ入ってきていて、駐車場のところが両方から入ろうとしていっぱいになっている。こんな光景を見たのは久しぶりなんですね。本当に頑張っていけば、このように多くの方が水戸に来ていただけるんだと思いますので、これからもたくさんの観光客の皆さんが水戸にお越しいただけるように御尽力いただければと思います。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 今回の五十嵐委員の話と似ているんですけども、今回の資料の中で、第7款商工費の中で、観光課の担当の弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進事業ということで予算が計上されております。御案内のように、やっと三の丸周辺が全国の歴史観光都市と肩を並べるような景観形成が整ったというようなことで、地元としても大変ありがたいと思っております。ただ、これはあくまでも通過点であって、今、五十嵐委員さんのほうから話がありましたように、要は広域観光（戦略的観光プロモーション事業等）の推進事業というようなことで1,400万円出ておりますけれども、要は広域の観光というのは前からいろんな形

で進めてきたと思うんです。ただそこで忘れてならないのは、やはりどこが中心になって、いわゆるディレクターとなって周辺の市町村を引っ張っていくかという意識の問題だと思うんですよ。言葉で広域観光というのは簡単なんですけれども、誰が、じゃ、そのかじ取りをするんだというような強い意志を持って私は進めていただきたいと思うんです。

というのは、やはり水戸は約五十数年にわたって茨城県の県庁所在地として、今まで茨城県の発展に大いに尽くしてきたというような流れがあります。そういうものを大事にしなくちゃいかん。県庁所在地としての権威とか誇りをしっかりと次の時代につないでいくという大きな役割が私はあると思うんです。それには、これ大事な部分だと思うんですけれども、やはり観光、商工が連携しながら、リーダーとなって引っ張っていくと、牽引していくということを忘れないで、例えば広域の問題についても取り組んでいただければと思います。幸い、新市民会館が来年の7月から供用開始になるというようなことで、中心市街地がまさしく基本計画に基づいたコンパクトシティ化をどんどん進めてきて、あそこのアダストリアみとアリーナも含めて、ペDESTリアンデッキも含めて、周辺整備が大体全て終わったというようなことなので、今度はその素材をどう生かすかが問われておるといようなことなので、ぜひこの役所の中でも、そういうものの創造性をいかに発揮できるセクションにいるわけですから、中心地区の、また水戸市全体を牽引するエリアとして、皆様方に大なるこの予算が、小さな予算でも大きく生かしていただけるように私は強く要望をしておきます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

安藏委員。

○安藏委員 私も今回の予算に対しては賛成の立場で、一言述べさせていただきます。

先日の委員会でもちょっと触れさせてもらったんですけれども、合計で令和4年度、18億4,054万円という大きな農林水産業費の中だと思うんですけれども、新たな体制、あるいは昨年度事業ができなかったこと、それらを含めまして本当に大きな変わり目だと思いますし、食料を含めて大変な時期になっていると思います。そういう中で、昨年は本当に残念ながら商工会、あるいはJAとの話し合いができなかったわけでございますけれども、新しい執行部におかれまして、ぜひ現場の声を聞きながら、これからの産業振興ということでお願いをしておきたいと思います。

新たな事業をいろいろ提示していただきましたけれども、先ほど五十嵐委員さんも言われましたけれども、やはり現場の声を聞きながら、子どもたちにもその現状を分かってもらうことがやはり後継者の問題も含めて大事だと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいということで、一応意見ということで一言述べさせていただきます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、議案第20号について、採決します。

議案第20号中第1表中歳出中第5款、第6款中産業消防委員会所管分、第7款、第9款及び第11款中産業消防委員会所管分並びに第3表債務負担行為中産業消防委員会所管分について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第20号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第22号 令和4年度水戸市公設地方卸売市場事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、議案第22号について、採決します。

議案第22号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第22号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第23号 令和4年度水戸市駐車場事業会計予算について、御意見等がございましたらお願いします。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、議案第23号について、採決します。

議案第23号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第23号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第36号 令和3年度水戸市一般会計補正予算（第11号）中第1表中歳出中第9款（消防費）及び第2表継続費補正中第9款（消防費）について、御意見等がございましたらお願いします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、議案第36号について、採決します。

議案第36号中第1表中歳出中第9款及び第2表継続費補正中第9款について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第36号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第37号 令和3年度水戸市公設地方卸売市場事業会計補正予算（第1号）について、御意見等がございましたらお願いします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、議案第37号について、採決します。

議案第37号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第37号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第38号 令和3年度水戸市駐車場事業会計補正予算（第1号）について、御意見等がございましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、議案第38号について、採決します。

議案第38号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○飯田委員長 総員挙手であります。

よって、議案第38号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案第3号ほか7件についての審査は全て終了しました。

なお、この際、本会議における委員会報告書についてお諮りします。委員会報告書の作成については、正副委員長に御一任願いたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 正副委員長への一任はもちろん賛成なんですけれども、前回の委員会でも、各委員各位から種々質疑が、意見も含めてあったと思いますけれども、それを十分に反映していただきたいというふうに思います。意見です。

○飯田委員長 そのようにさせていただきます。

それでは、御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、閉会中所管事務調査についてを議題とします。

本件については、お手元に配付しました閉会中所管事務調査一覧表のとおり、当委員会から議長に対して申出をしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

それでは、特に緊急の案件がない限り、今回が今年度最後の委員会になろうかと思っておりますので、今月末をもって退職されます鈴木産業経済部長、小泉消防局長、深澤産業経済部技監兼農政課長、青木北消防署長からそれぞれ御挨拶をいただきたいと思っております。

初めに、鈴木産業経済部長、お願いいたします。

○鈴木産業経済部長 委員会の貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。飯田委員長をはじめ、各委員の皆様におかれましては、本当にこれまで心温かく御指導いただきまして、誠にありがとうございました。

この委員会には、産業水道委員会のとときを含めて通算で5年間在籍をさせていただきました。私は総務環境委員会と行ったり来たりをさせていただいたんですけれども、この産業消防委員会のアットホームな雰囲気には随分助けられた思いであります。

4月からは引き続き、少し今の仕事と関わるような仕事をさせていただく予定ですので、引き続きの御指

導をいただきますようお願い申し上げます、お礼と感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。お世話になりました。（拍手）

○飯田委員長 次に、小泉消防局長、お願いします。

○小泉消防局長 委員会の貴重なお時間に挨拶をする機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は昭和55年に入庁以来、約42年間にわたり勤務をさせていただきました。多くの方々の支えによりまして退職を迎えられますことに感謝を申し上げる次第でございます。

常任委員会には、文教福祉委員会が9年、産業消防委員会が2年間、お世話になりました。初めての常任委員会が東日本大震災の年でございます、緑町にあった消防本部庁舎が被災をし、使用不能になった中、消防の作業服で出席をしたということを記憶しております。その後、平成27年の関東・東北豪雨による県内消防応援や令和元年の台風19号による水害、そして去年の熱海市の土石流災害による消防緊急援助隊の出動に関わるなど、通常の業務ではなかなか経験できないような貴重な経験をさせていただいたものでございます。

これまで私が何とか職務を全うすることができましたのは、委員の皆様方の御支援、御指導のおかげであると感謝を申し上げる次第でございます。先日も強い地震がございましたが、今後発生が予想されております首都直下型地震や南海トラフ地震、地球温暖化による豪雨災害など、今まで私たちが経験したことがないような災害が発生を危惧されております。そのような災害に対応するためにも、今まで以上に消防力の強化が必要になってまいりますので、委員皆様のお一層の御支援、御指導のほどよろしくをお願いいたします。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症の早期の収束と産業消防委員会の皆様方の御健勝、ますますの御活躍を御祈念申し上げます挨拶とさせていただきます。本当に長い間、ありがとうございました。

（拍手）

○飯田委員長 次に、深澤技監兼農政課長、お願いします。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 委員会の貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。

私は昭和63年に農業専門職として入庁して以来、34年間勤務をしてまいりました。この間、農業技術センターに25年、農政課に9年間と農業畑一筋に、自分の専門を生かしながら最後までやりがいを持って仕事をさせていただきました。

担当から係長の頃には、毎年のように全国各地に視察に行かせていただいたほか、発展途上国での農業援助の仕事も経験させていただき、そうした現地で直接見聞きし、体験したことがその後の仕事に大いに役立つものと感じております。

そして、農政が長くなるにつれまして、自然を相手に古くは縄文時代から営まれてきた農業については、経済面だけでは計り知れない意義があるというふうな思いが強くなるとともに、これを行政として推進していく難しさも感じておりました。今、ロシアによるウクライナ侵略のせいで、食料安全保障の議論が始まっておりますけれども、改めて「農は国の大本なり」という言葉を思い出しております。

さて、退職後は、会計年度任用職員の内定をいただきましたので、引き続き農業行政に関わらせていただきながら、半農半Xへの道も探ってまいりたいと考えております。

最後になりますが、産業消防委員会のますますの御発展と委員の皆様、執行部の皆様の御健勝を御祈念申

し上げてまして、退職の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

○飯田委員長 次に、青木北消防署長、お願いします。

○青木北消防署長 委員の皆様には、御指導、御鞭撻をいただき本当にありがとうございました。

仕事の思い出としては、阪神・淡路の震災で救助隊として神戸市灘区、東灘区で1週間活動してまいりました。町並みが一瞬で傾き、火に包まれて活動してきましたが、今でも目に焼きついております。一昨年、文教福祉委員会にいたところ、研修ということで後藤委員と一緒に行くことができました。10年たって、20年たって、随分変わったなという思い出があります。

退職後は、水戸市のために何か御奉仕できたらと思っておりますので、率先してやっていきたいと思えます。お世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

○飯田委員長 それでは、委員会を代表いたしまして、私のほうから一言御挨拶を申し上げます。

鈴木産業経済部長、小泉消防局長、深澤技監兼農政課長、青木北消防署長の4名の方におかれましては、長きにわたりまして市政発展と市民福祉の向上のために御尽力され、立派にその重責を果たされたことにつきまして、深い敬意と感謝の意を表すものであります。この長い勤務期間中には、特に3・11の大震災がありまして、また一昨年からはコロナ禍ということで非常に社会の閉塞感があった中で、再度申し上げますが、本当に皆様の御尽力によりまして水戸市が発展してきたと思っております。

これからは退職ということで一区切りつくとは思いますが、これまでの経験を生かし、そしてくれぐれも健康に御留意されまして、本市の発展のために変わらぬお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。挨拶に代えたいと思えます。長い間、本当に御苦労さまでした。（拍手）

それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時30分 散会